令和5年度 理科 授業改善推進プラン

大田区立六郷中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・実験や観察を多く取り入れ、実学として生徒の想像力に働きかける授業を展開できた。
- ・主体的に学習しようとする姿勢を身に付けさせることができた。

(2) 課題

- ・言葉を理解していない場合が多く、さらなる基礎・基本の徹底のための工夫が必要である。
- ・実験・観察の考察を言語や文章によって表現することに課題があり、時間をかける必要がある。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(1) 達成率（経年比較）

	令和5年度結果	令和4年度結果	令和3年度結果
第1学年	目標値を下回っている。	/	/
第2学年	目標値を下回っている。	目標値とほぼ同程度。 (第1学年時)	/
第3学年	正答率は全国平均に近い値となっている。	目標値を上回っている。 (第2学年時)	目標値を上回っている。 (第1学年時)

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎問題の正答率が目標値を下回ることが多い。	活用問題の正答率が低く、基礎知識の定着が課題と考える。	基礎問題の正答率が目標値を下回ることが多いことから、自ら進んで学習に取り組む態度の涵養が重要である。

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎問題の正答率が目標値を下回ることが増えた。	活用問題の正答率が低く、基礎知識の定着が不安定になってきたことに起因すると考える。	基礎問題の正答率が目標値を下回ることが増えた。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
正答率はおおむね全国に近い値を示している。	正答率が全国を下回っており、課題である。	正答率が全国を下回っており、課題である。

3 授業改善のポイント（観点別）

（1）第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎・基本の徹底のため、用語の理解や計算演習のための時間を十分にとる。	思考の道筋を明確にするために、主語・述語を課題と照らし合わせる時間を十分にとる。	I C Tを使った家庭学習を促していく。

（2）第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基礎・基本の徹底のため、用語の理解や計算演習のための時間を十分にとる。	思考の道筋を明確にするために、主語・述語を課題と照らし合わせる時間を十分にとる。	I C Tを使った家庭学習を促していくことも含めて、学習時間の確保と実施を意識させていく。

（3）第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
基本的な知識の定着に力を入れる。小テストや復習を繰り返す。	実験観察を通じて、結果から分かることを考察させる。これを繰り返すことで、考える力を付ける。	理科に関心をもってもらよう、興味・関心を引き出すような話題を提供する。